



ウェルビー



64 歳以下 ワクチン接種予約受付中

接種費用

無料

(全額公費)

新型コロナウイルスワクチン接種

① 予約枠を拡大

② 拡大に伴い、既に予約済の接種日より、
早い日時へ変更可能な場合があります

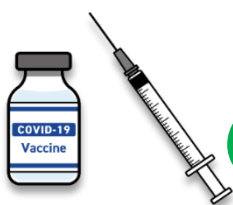
月 ～ **土** まで毎日実施

【予約方法】お電話のみ 紀和クリニック

☎ 0736-34-1255 (13 時～17 時)



【当日の服装】



肩の出しやすい服装で！

“肩の上の方”に接種しますので、半袖で来てください。

ワイシャツや長袖で袖をまくる形では、接種部位は露出できません。

【接種回数と接種間隔】

2 回の接種が必要です。

▶ファイザー社のワクチン: 通常、1 回目の接種から
3 週間後に 2 回目の接種を受けます。1 回目から
3 週間を超えた場合には、できるだけ早く 2 回目の
接種を受けてください。

土曜日
ワクチン接種実施中！



水害避難訓練 in 紀和病院



近年、各地で河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生していることから、当院でも水害避難訓練を行いました。
大雨により近くの川が氾濫し、避難勧告が出たこと（警戒レベル4）を想定して患者さんを避難させました。声を掛けあい、状況を伝えあいながら2階へ避難誘導できました。



- ストレッチャーを使用しての移動方法
 - ストレッチャーなしでの移動方法
 - 車イスの患者さんの移動方法
- など様々な場面を想定して搬送しました。

途中途中、患者さんに声掛けも行いながらパニックにならないように心がけます。避難場所では看護師が患者さんへのバイタル確認を実施し、状態に変化がないか確認を行います。人命救助だけでなく、薬や点滴などの確保もスムーズに行えました。



豪雨災害時の行動

警戒レベル1
災害への心構え



気象情報や
ハザードマップを確認する

早期注意情報

警戒レベル2
避難行動の確認



最新の情報を確認し、
備えと避難行動を確認する

洪水注意報
大雨注意報等

警戒レベル3
高齢者等は避難



避難情報に留意し
危険の詳細を確認して
速やかに避難する

避難準備
高齢者等避難開始

警戒レベル4
全員避難



避難を完了する
垂直避難をするなど命を守る
ため適切な行動をする

避難勧告
避難指示（緊急）

警戒レベル5 すでに災害が発生している状況

浸水してくることでスムーズに移動することも難しくなることを考えるとどのように避難したらいいのかわかっている時間はありません。

災害に対する「知識」や「心がまえ」を持つことが不可欠であると、訓練を通して感じました。いつどんな災害が起こっても患者さんを安全に避難できるよう訓練を続けていきたいと思っています。

防災

高めよう自助の力

2 足元注意

- ・長い棒などを頼りに安全を確認しながら歩く
- ※側溝やマンホールなどにはまらないように道路の真ん中を歩く



1 動きやすい格好で避難
・持ち物はリュックに入れ両手を自由にする

3 ロープでつなぐ
・はぐれないようお互いの体をロープで結んで避難する
※特に子どもから目を離さないように。

4 長靴は厳禁！！
・水が入って重くなり動きづらくなる
※運動靴で避難する

5 車での避難は控える



- ・道路が冠水すると水で車が動かなくなったり、水圧でドアが開かなくなったりする

6 隣近所で助け合って避難

- ・隣近所で声をかけ「助け合い」、病人、歩行困難な人は協力して避難する



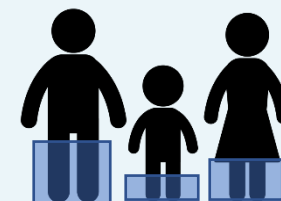
7 浸水後無理に移動しない



- ・浸水が始まってからの避難場所への避難は危険
- ・逃げ遅れた場合は建物の2階以上に垂直避難する
- ※夜間である、ひざ上50cm以上の浸水、水の流れが速い、などの場合も垂直避難

8 人が行動できなくなる水の深さ

- ・大人 男性 70cm 大人 女性 50cm 子供 20cm
- ※水圧があるため30cmでも足元がふらつく



救急救命士 実務研修を行いました

橋本市消防本部、伊都消防組合消防本部よりそれぞれ1名ずつ救急救命士養成所を卒業し国家試験に合格した方が当院で卒後実務研修を実施いたしました。

研修では救急車に同乗し行なうことの出来る気管挿管の見学や、循環器内科医師による心電図の講義など、救急現場から医療

機関までの搬送途上で実際に必要な内容を学んでいただきました。救急隊は現場から医療機関へ住民の命をつなぐ大切な役割を担っています。

このような研修を積極的に受け入れ、患者さんの搬送から治療までを途切れなく迅速に行えるよう、連携の強化に努めたいと思っております。



橋本市消防本部
入谷 圭祐 救急救命士



伊都消防組合消防本部
林 晃史 救急救命士



▲検査前の血圧測定



▲循環器内科 永野医師の講義

3月22日から24日までの3日間、救急救命士として紀和病院で研修をさせていただきました。研修中、救急処置室や病棟を見学させていただきましたが、医師や看護師などすべての医療スタッフの方々が患者さんに親身に接しており、信頼関係が成り立っていました。私も救急出動した際、患者さんの気持ちを考えた処置やコミュニケーションをこころがけ、信頼される救急救命士を目指します。



▲総合内科 土生医師による胃瘻交換／気管カニューレ交換

スタッフの皆様にはお忙しい業務の中、親切にご指導して頂き本当にありがとうございました。また、実習中は綿密なカリキュラムを組んでくださったおかげもあり、非常に濃く有意義な実習となりました。実習で得た経験や知識をこれからの救急業務に活かし、住民の方々の命を守っていきたいです。

ゆったり・・・
まったり・・・



また、各個室には紀州材を使用し木の温かみを感じて頂けるお部屋となっています。これからも利用者様とご家族様に満足して頂けるよう、心こもった介護を心掛け地域・社会に貢献できるよう努力してまいります。

自然豊かな四季折々の風を感じられる場所に立地する、温かく家庭的な雰囲気施設の施設です。天佳苑では、全室個室となっており、今までの生活が継続できるように、その人の生活を尊重させて頂いております。



居心地のいい場所
当院協力施設



社会福祉法人 光誠会
特別養護老人ホーム 天佳苑

和歌山県橋本市隅田町霜草 797-31
TEL 0736-37-5000
HP : <http://care-net.biz/30/koseikai/>

Zoom を使用しての オンラインセミナーを開催します

介護保険制度には「自立支援」という基本理念があり、在宅生活をされる方が自分らしく生き活きと過ごすことが出来るために様々なサービスが提供されています。中でも福祉用具に関しては身体能力と環境を評価した上で適切な物を使用することで「自立支援」につながる手段として非常に有効かと思えます。今回は身体と環境（生活）を見る作業療法士の立場から福祉用具の使用や捉え方についてご説明致します。



自立支援につながる 福祉用具の考え方



講師：松下隼也

（紀和病院 作業療法士）

（和歌山県作業療法士会 住環境福祉機器推進委員）

2021 年

7月31日（土） 10：00—11：00



セミナーへの申し込みはこちらから



ご参加ご希望の方は、添付の QR コードの申し込みフォームよりお申込みをお願いいたします。

申込締め切り日：7 月 26 日（月）まで



和歌山県立医科大学リハビリテーション科と連携

「紀和クリニック リハビリテーション科」診療開始

【診療日】第3・第4火曜日 午後

【担当医師】日本リハビリテーション医学会 専門医
三上 幸夫 医師・坂野 元彦 医師

退職医師のお知らせ

副院長 松田泰次 医師は、2021 年 5 月 31 日付をもって退職いたしました。

整形外科 石崎歩 医師は、2021 年 6 月 30 日付をもって退職いたしました。